

近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所
資 料 配 布

配布日時	平成24年9月20日 14時00分
------	----------------------

件 名	往時の平城宮の広がり<small>よみがえ</small>が甦ります。 ～国営平城宮跡歴史公園 第一次朝堂院の広場整備に着手～
-----	---

概 要	<p>◇朱雀門から第一次大極殿院の往時の平城宮の空間を表現することをめざし、広場整備を行います。</p> <p>◇広場整備のポイント</p> <p>○広場整備により、朱雀門から第一次大極殿正殿を真正面に見据えて往時の広がりを体感しながらアプローチができるようになります。</p> <p>○更に、第一次朝堂院内に復原された基壇を間近で体感できるようになります。</p> <p>○奈良時代の遺構が存在しており、それらを保護しながら施工を行います。</p> <p>◇工事期間 平成24年9月25日～平成25年3月末（予定）</p> <p>◇工事場所 平城宮跡 第一次朝堂院（奈良県奈良市佐紀町地先）</p>
-----	--

取 扱 い	_____
-------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政記者クラブ 奈良県文化教育記者クラブ 奈良市政記者会
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所 平城分室 副所長 伊勢 達男 工務第二課長 桑田 隆男 電 話：0742-36-4327 FAX：0742-36-4331
------	---

◇国営平城宮跡歴史公園 第一次朝堂院の広場整備の工事に着手します

○はじめに

国営平城宮跡歴史公園は、我が国を代表する歴史・文化遺産である平城宮跡の一層の保存・活用を図るため、平成20年度に事業化された国営公園です。

このたび、朱雀門から第一次大極殿院に至る宮の中心軸と往時の空間を表現することをめざし、第一次朝堂院において広場整備の工事に着手することとしました。

今回の工事により、第一次大極殿正殿を真正面に見据えて往時の広がりを感じながらアプローチができるようになります。また、第一次朝堂院に復原された基壇を間近で体感できるようになります。

現状



- ・ 第一次大極殿院の院内広場が暫定整備されています。
- ・ 第一次朝堂院は未整備であり、中心を南北に水路が位置し、全体は常時草地の状態です。

整備後(イメージ)



- 第一次朝堂院の広場整備を行うことにより、第一次大極殿院に至る宮の中心軸と往時の空間を表現します。
- また、第一次朝堂院に復原された基壇が明確に表示されます。



- ・ 第一次朝堂院は未整備のため、来訪者は第一次大極殿院へは外周の園路を利用しています。
- ・ また、第一次朝堂院に復原された基壇への接近が困難な状況となっています。



- 第一次朝堂院の広場整備が行われることで、来訪者は第一次大極殿正殿を真正面に見据えて往時の広がりを感じながらアプローチできるようになります。
- また、第一次朝堂院に復原された基壇を間近で体感できるようになります。

◇第一次朝堂院の広場整備の工事概要

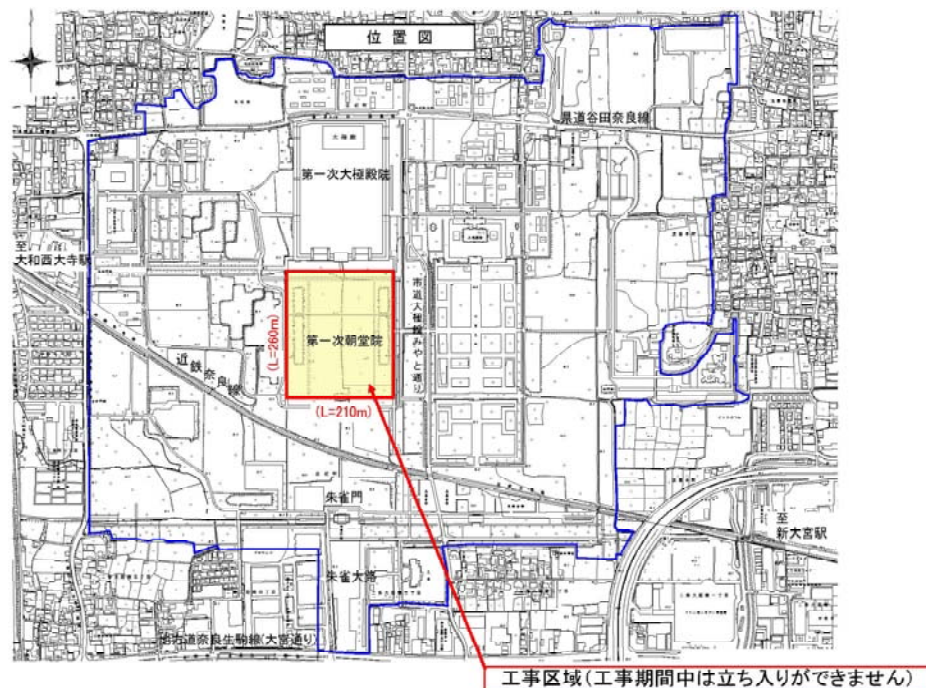
1. 工事期間

平成24年9月25日～平成25年3月末（予定）

※工事期間中は、工事区域への立ち入りできません。
立ち入り制限にご協力をお願いします。

2. 工事場所

平城宮跡 第一次朝堂院
(奈良県奈良市佐紀町地先)



3. 工事内容

- ・施工範囲 東西210m×南北260m
- ・盛土 約15,000m³
- ・土系舗装 約45,000m²
- ・その他付属施設

○工事中の配慮事項

平城宮跡の地下には、奈良時代の遺溝（当時の建築・構造物跡、木簡など）が存在しており、その遺溝を保護しながら施工を行う必要があります。

本工事では、ブルドーザやグレーダの建設機械による過度の転圧や、局所的な荷重負担などを防止するため、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上を行う情報化施工を活用した整備を行います。